

計画概要

浦島橋架替え事業は、コンクリートの剥離・浮き・ひび割れ・漏水等の損傷が著しいため、橋を新しく架替えることにより安全性や耐震性の向上を図るものです。また、あわせて橋周辺の円滑な交通処理を行うための右折レーンを確保し、さらに橋の前後にわたり、歩行者が安心して歩行できる歩道空間の確保を行うもので、延長約 730mの事業です。

道路計画の諸元

区 間	(自) みやま市高田町徳島 (至) 柳川市大和町中島	道路規格 設計速度	第3種 第2級 V=60km/h
延 長	延長 : 0.73 km 一般部 : 0.57 km 橋梁部 : 0.16 km	車 線 数 有効幅員	2車線 15.0m

現在の浦島橋の橋梁諸元

現在の浦島橋	現在の浦島橋の諸元										
	<table><tr><td>架橋年次</td><td>昭和31年3月</td></tr><tr><td>橋 長</td><td>約139.3m</td></tr><tr><td>有効幅員</td><td>5.8m</td></tr><tr><td>車 線 数</td><td>2車線</td></tr><tr><td>上 部 工 形 式</td><td>単純RCT桁2連 +5桁間ゲルバーRCT桁</td></tr></table>	架橋年次	昭和31年3月	橋 長	約139.3m	有効幅員	5.8m	車 線 数	2車線	上 部 工 形 式	単純RCT桁2連 +5桁間ゲルバーRCT桁
架橋年次	昭和31年3月										
橋 長	約139.3m										
有効幅員	5.8m										
車 線 数	2車線										
上 部 工 形 式	単純RCT桁2連 +5桁間ゲルバーRCT桁										

新しい浦島橋の橋梁諸元

完成予想図（下流側より望む）	新しい浦島橋の諸元										
	<table><tr><td>橋 長</td><td>約160.0m</td></tr><tr><td>径 間 長</td><td>40.0m+69.0m+51.0m</td></tr><tr><td>有効幅員</td><td>17.5m</td></tr><tr><td>車 線 数</td><td>2車線+右折車線</td></tr><tr><td>上 部 工 形 式</td><td>鋼3径間連続鋼床版箱桁橋</td></tr></table>	橋 長	約160.0m	径 間 長	40.0m+69.0m+51.0m	有効幅員	17.5m	車 線 数	2車線+右折車線	上 部 工 形 式	鋼3径間連続鋼床版箱桁橋
橋 長	約160.0m										
径 間 長	40.0m+69.0m+51.0m										
有効幅員	17.5m										
車 線 数	2車線+右折車線										
上 部 工 形 式	鋼3径間連続鋼床版箱桁橋										

現況写真撮影箇所と撮影方向



一般国道208号 浦島橋架替え事業

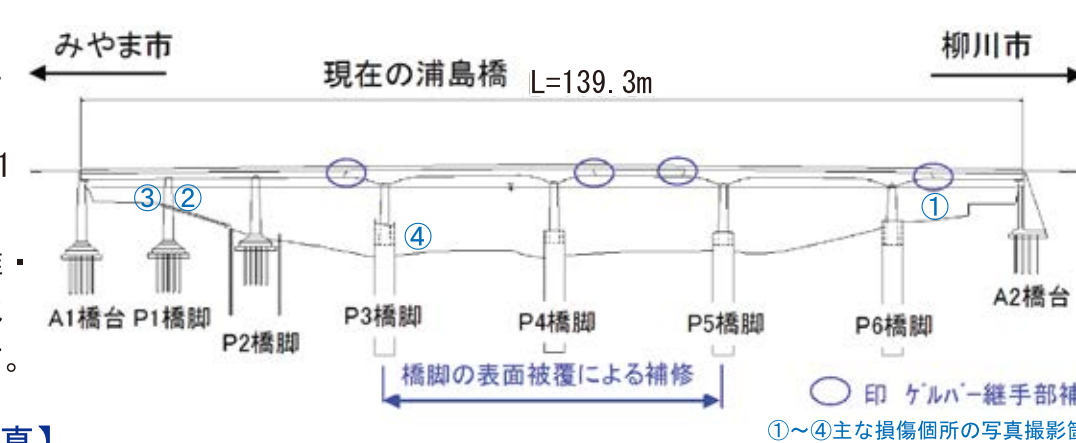
～浦島橋とその周辺を 安全・安心で快適な空間に～

整備区間の現状

現在の浦島橋は一級河川矢部川に架かる橋で、昭和 31 年に架設され 50 年余りを経過しています。橋の損傷も著しくこれまで補修・補強工事を行ってきています。また、橋の区間は車道幅員が狭く、橋の前後区間においては歩道が整備されておらず、車両と歩行者の双方にとって安全・安心な道路空間を確保出来ていない状況です。

■浦島橋の現状

浦島橋は、今までに補修・補強工事を行ってきましたが、平成 21 年度の点検時においてもコンクリートの剥離・浮き・ひび割れ・漏水等が確認されています。



【主な損傷箇所の写真】



■浦島橋周辺の車道の現状

現在の浦島橋は車道幅員が片側 2.90m(本来は 3.75m必要)しかなく、特に大型車の離合の際に危険な状況にあり、交通の隘路となっています。また、交差点部に右折レーンが設置されていないことから、柳川市側では主要地方道大和城島線への右折車、みやま市側では主要地方道大牟田川副線への右折車による滞留が生じ、直進車の通行が妨げられています。



■浦島橋周辺の歩道の現状

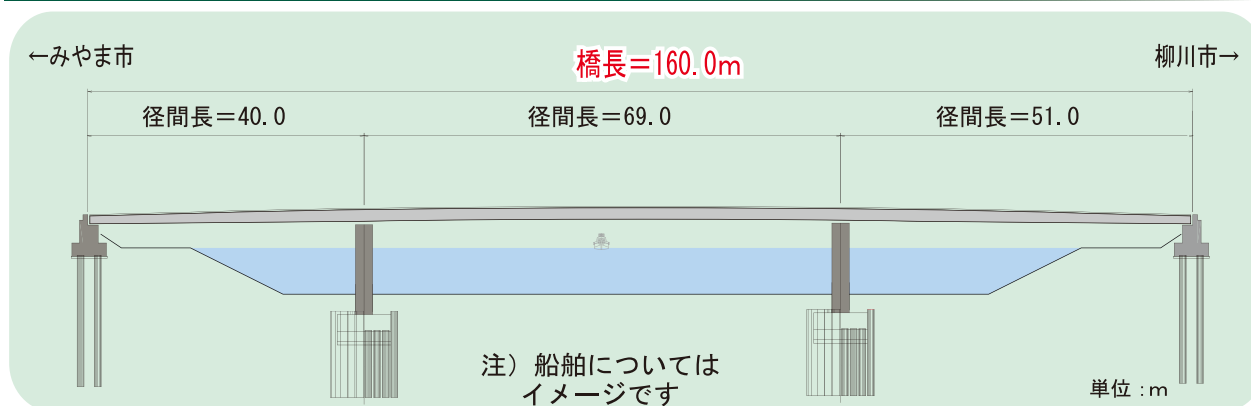
整備区間の周辺には、小学校・西鉄中島駅があります。また、地元商店街では朝市等も開催され歩行者の多い区間ではありますが、歩道が整備されておらず安心な通行空間の確保が出来ていません。



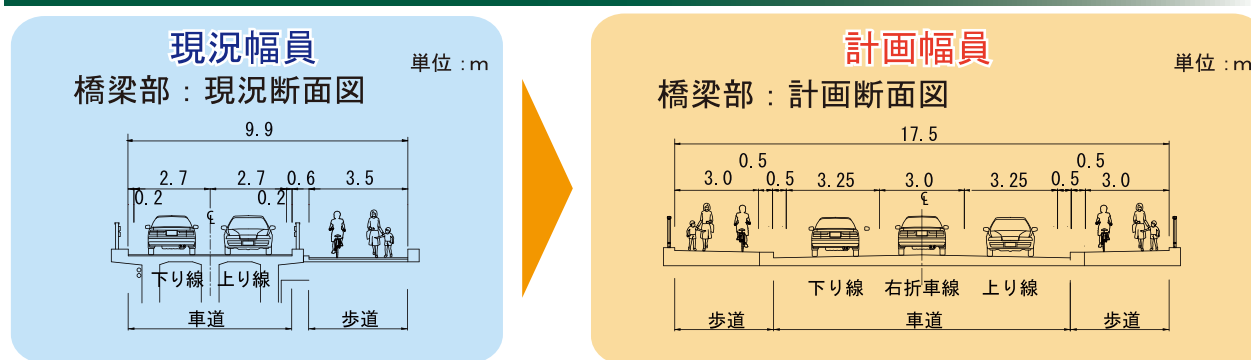
平面計画



橋梁側面図

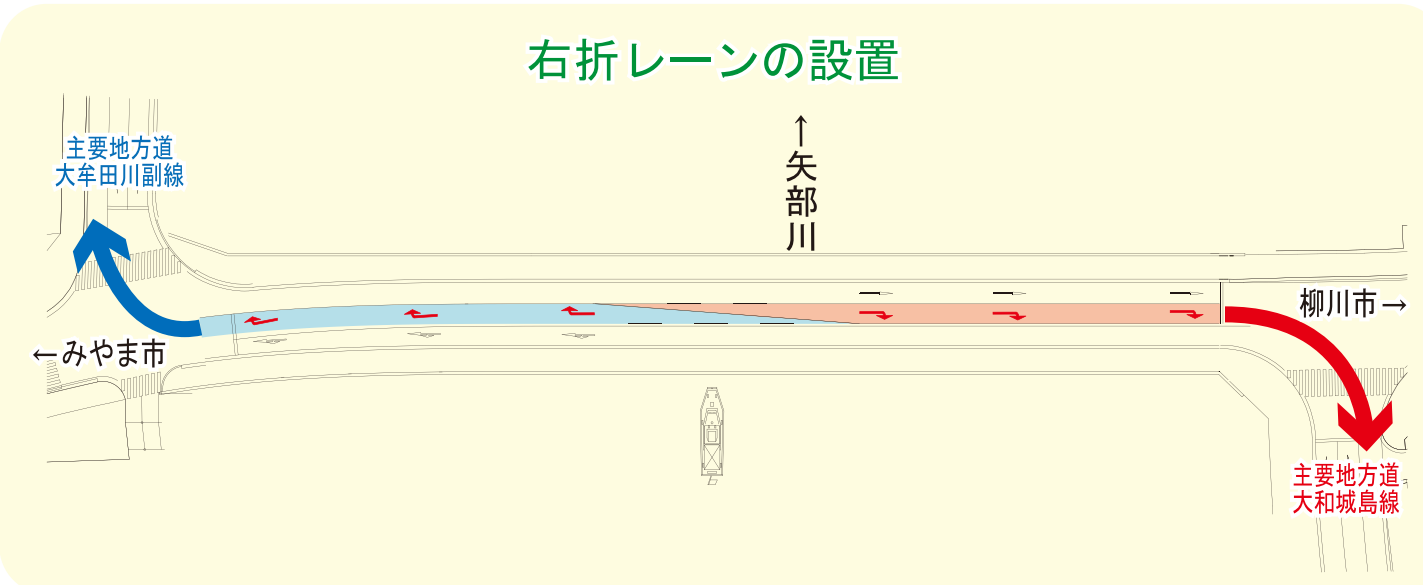


橋梁部の幅員



浦島橋架替えにあわせ、周辺の歩道整備などを総合的に行います。

- ①橋の架替え
橋の架替えを行うことにより損傷対策はもちろん、大きな地震にも耐えられる橋になります。また、橋脚が6本から2本となり川の流れがスムーズになり、船舶の航路空間も現在より広い空間となります。
- ②車道の拡幅
浦島橋の車道幅員が片側 2.90mから片側 3.75mに広がることにより、大型車の離合時等においてもスムーズに離合が出来る様になり、快適に走行できるようになります。
- ③右折レーンの設置
主要地方道大和城島線および、主要地方道大牟田川副線方面に右折する自動車による渋滞を防ぐために、両交差点に右折レーンを新たに設置します。
- ④歩道の整備
橋の区間及び前後の一般部において有効幅員 3.0mの歩道を両側に整備することにより、歩行者・自動車ともに安全・安心して通行できるようになります。



一般部の幅員



今後の進め方

- 1. 事業化
基本的な道路設計の検討を行う。
- 2. 事業概要の説明
事業概要の説明を地域の皆様方に行います。また、測量立ち入りの了解が得られれば、測量の準備に入ります。
- 3. 測量・地質調査
現地の測量及び地質などを調査して、周辺の状況を把握します。
- 4. 橋梁・道路設計
現地調査の結果に基づいて、橋梁・道路の設計を行います。
- 5. 設計協議
橋梁・道路の高さ、取付道路等の内容について地元の皆様方と話し合い、計画内容を固めます。
- 6. 用地測量と物件調査
用地巾杭を設置し、用地測量と物件調査のお願いに行きます。
- 7. 地権者との相談
用地買収及び補償の内容について、地権者の皆様と相談します。
- 8. 調印と登記
用地買収及び補償の調印と手続きを行います。
- 9. 工事説明
工事中にご迷惑をお掛けしないように工事の進め方、工事の交通処理(陸上・河川部)等について詳細に説明します。
- 10. 工事
工事中の相談等についても現場の監督員がお聴きします。
- 11. 工事の完成
完成予想図(下流のみやま市側より望む)